

【Course Aim】

- ①大学だけでなく、実社会で必要とされる、情報を分析する力、論理的思考をする力、人を説得する表現力を、口頭発表、レポート作成を通じて養う。
- ②上手な聞き手として、日本語でコミュニケーションできるようになることを目指す。
- ③インタビューや書くことを通して、知的な問題発見を体験する。

【Contents of Course】

- ①社会問題などについての意見を述べる・意見を書くを通じ、自分の意図する内容を日本語で適切に伝える口頭表現技術・文章表現技術の基礎を身につける。
- ②インタビュー調査活動を通じ、場面や相手に合った日本語表現を身に着ける。  
また、上手な聞き手とは何かを考える。

【Course Schedule】

【第1回】オリエンテーション

【第2回～11回】

読解

- 情報分析の仕方を考える
- 意見レポートのテーマを考える
- 論理的な文章の構造を知る

【第12回～32回】

A. 意見スピーチ&論証型レポートを書く

- ① 意見レポートとは
- ② テーマを決める
- ③ 論点作成
- ④ 資料検索オリエンテーション
- ⑤ アウトライン作成
- ⑥ パワーポイント作成
- ⑦ 発表
- ⑧ レポート作成

B. 敬語の練習

語彙の拡大

但し【第17～19回】は、10月 15日(土)に行う

【第33回～60回】調査プロジェクト (第37回～41回は除く)

- ① インタビュー報告文を読む
- ② 計画をたてる
- ③ 資料検索
- ④ インタビュー項目を作る
- ⑤ アポイントメントを取る
- ⑥ インタビューをする
- ⑦ 分析、考察を行う
- ⑧ 発表アウトラインを作る
- ⑨ 結果発表

但し11月19日(土)【第37～41回】は、フィールドトリップ

(\*適宜 語彙練習・新聞読解・敬語表現練習も行う)

漢字学習は、各自のレベルにあったものを学期を通して自主学习を中心に行う。

【Preparation / Advice】

学期を通し読む、書く練習を積み重ねていくが、授業前の準備が必要になる。また、実際に「書く」作業は個人作業なので、講義外の時間も使うことになる。必要な時間を十分とれるようにしておくこと。

自分の課題に関する教師からのフィードバックを確認し、変更・訂正などを行う。

発表について自己評価をする。

【Texts】

特になし(適宜プリント配布)

【Reference】

井下千以子(2014)『思考を鍛えるレポート・論文作成法[第2版]』慶應義塾大学出版会  
立花隆・立花隆東大ゼミ(2011)『二十歳の君へ—16のインタビューと立花隆の特別講義』文藝春秋  
明治学院大学教養教育センター(2011)『アカデミックリテラシーハンドブック』

【Grading】

平常点(授業参加度・参加態度ほか)20%

課題・発表 80%

**【Other】**

- ① 予習、復習でも述べたが、教室での活動以外に各自の課題のための準備が必要である。
  - ② 授業内でも、各自が自律的に進めていく姿勢が求められる。出席しているだけでは、何も進まない。
  - ③ グループワークでは、それぞれが責任を持って協力しあうこと。
- 授業の最終日は、12月 23日(金)で、大学学歴とは異なる。そのため、授業計画で述べたように、10月 15日(土)及び、11月 19日(土)は、補講日となる。